

# 大型開発への巨額な投資より、暮らし・福祉・教育の充実こそ市民の願い

## 高くて利用しにくい施設に、なぜ450億円もの税金投入

**事実上の公共事業、情報公開を**  
 商業スペースにどんな事業者・店舗が入るのか、全く不透明ですが、総事業費の6割以上を税金（450億円）でまかなう桜町再開発は、事実上の公共事業です。徹底した情報公開と説明責任が求められます。

**地元事業者が入れない再開発ビル**  
 桜町再開発には、126億円もの補助金を出し、69億円を無利子で貸し付けますが、テナントの入る床の価格が高いために、地元の事業者が入るのは難しいと思われまます。

**熊本城ホールの利用**  
 料金は、市民会館の4倍もの使用料のため、市民が主催者として気軽に利用できる施設ではありません。



市民会館



桜町再開発・熊本城ホール

【ホールの使用料比較】

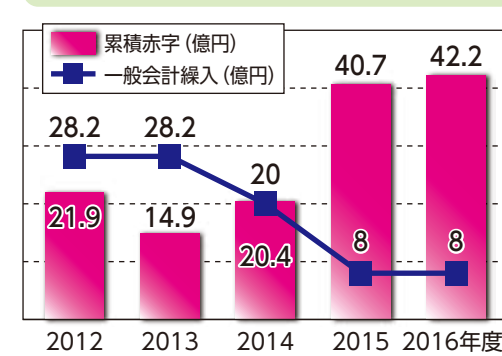
	熊本城ホール	市民会館
収容人数	2,300席	1,591席
時間帯	土日・終日	土日・終日
使用料	131万円	34万円

## 政令市一高い国保料の引き上げはすべきでない

**保険料が値上げされないよう市長へ申し入れ**  
 2018年4月から、一般会計繰り入れの増額で値上げしないよう、1月11日に市長へ申し入れを行いました。

大西市長になって、それまで年間20億円以上あった赤字補てん分の一般会計繰り入れが8億円に減額され値上げにつながっています。

【一般会計繰り入れが年々減り、赤字は増大】



**大西市政で、一般会計繰り入れが減保険料は値上げに**  
 県の試算では、ひとり年間4400円のアップ。昨年12月に県が公表した仮算定では、熊本市の保険料は2016年度と比べてひとり4400円も引き上げです。2016年度の値上で、熊本市の保険料は政令市でトップです。今でも負担の重い保険料は引上げるべきではありません。

大西市長のもとで切り捨てられる住民サービス

## 市議会は、北口和皇議員へ3度目の辞職勧告

12月議会最終日、熊本市議会は、長年にわたり職員への暴言・パワハラを繰り返し、市政を歪めてきた北口和皇議員に対する辞職勧告決議案を全会一致で議決しました。

## 外部監査で「不適正」と認定された委託金や補助金の返還にも応じない

北口議員が代表理事を務める熊本市漁協への委託や補助金支出が「不適正」と認定され、熊本市は122万円の返還を求めています但未だに返還されていません。

## 北口議員は、直ちに辞職を!

市議会から3度、政治倫理審査会からも辞職勧告を受けた北口議員は、直ちに辞職すべきです。

## 市民の負託を受けた議員としての職責を果たす議会活動と子育て・介護等を応援できる市議会・市政へ



緒方議員が議場に子どもを連れての出席を求めた問題が大きな反響をあげました。緒方議員の主張と議会の対応が実際の経過に伝えられ混乱を招いたことから、日本共産党市議団は昨年12月に議長・市長へ申し入れを行い、事実を明らかにするとともに、党市議団としての見解を示しました。



\* 申し入れ全文は、党市議団のHPでご覧になれます。



## 子ども医療費助成・窓口での自己負担をなくし、完全無料化を

**子育て支援というなら「完全無料化」を**  
 中学3年生までの完全無料化（自己負担・所得制限なし）を実施している名古屋市・さいたま市にならって、熊本市も完全無料化を実施すべきです。



5歳の子どもを持つAさんの声

子どもが熱を出し、小児科を受診。中耳炎ということで、耳鼻科にも通院。薬もそれぞれの病院近くの薬局で処方してもらったために、負担がこれまでより大きく増えた。近隣の自治体では負担ゼロのところもある。熊本市も自己負担をなくしてほしい。

**自己負担が3倍以上では子育てに逆行です**  
 1月からの制度見直しで、4歳から小学3年生までの自己負担が500円から1400円へと約3倍になります。子育てに逆行です。

## さくらカードの見直しは利用者の立場で、障がい者は無料に

**障がい者は、無料のパス券へ**  
 障がい者からは、「ICカードが使えない」との声が相次いでいます。障がい者の自己負担はなくし、見せるだけの「パス券」に戻すべきです。



さくらカードは、制度開始以来21年間、高齢者・被ばく者・障がい者の社会参加と、地域経済活性化に大きく貢献してきました。利用者の立場で、更なる利用促進につなげることが重要です。

**見直しによって現行制度が後退しないように**  
 2018年度に外部有識者を含めた検討会が設置され、見直しが検討されます。

